

9. 外部報告

(1) 特定健診集合契約について（後藤常任理事）

4月1日付けで、今年度の代表保険者である北海道都市職員共済組合ほか945保険者と契約を締結した。集合契約参加医療機関数は1,504件、そのうち代行入力希望医療機関数は508件である。第三期を迎えた今年度より、詳細健診に血清クレアチニン検査が追加されたほか、国のプログラムに基づき、血中脂質検査、血糖検査の取扱いが変更となったことに伴い、データ電子化システムの改修を行い、代行手数料を改定した。なお、昨年度の代行入力依頼件数は9,134件であった。

(2) 北海道有朋高等学校通信制課程協力校受講生定期健康診断の委託契約について

（後藤常任理事）

平成23年から毎年協力している北海道有朋高等学校通信制課程協力校受講生定期健康診断について、今年度の委託契約を4月18日付けで北海道と締結した。契約期間は5月7日から7月31日まで、健診単価は昨年度と同額、受診予定者は32校648名、協力医療機関は326件である。

(3) 北海道医報「指標」の執筆依頼について

（山科常任理事）

「指標」は、主として三副会長のローテーションにより執筆してきたが、7月号より常任理事にも加わっていただくこととして了承された。

10. その他

(1) 会員数について（三戸常任理事）

平成30年3月31日現在の当会会員数は8,250名で、内訳はA会員2,450名、B1会員600名、B2会員4,570名、C1会員108名、C2会員125名、C3会員397名となった。なお、日医会員数は5,799名となっている。

(2) 東京都受動喫煙防止条例（仮称）に関する賛同署名への協力について（長瀬会長）

東京オリンピック・パラリンピックの開催都市である東京都において、より実効性の高い受動喫煙防止条例の制定を実現するため、医療関係団体が協力して、多くの署名を集め、東京都への働きかけの力とすることとなり、東京都医師会から協力依頼があった。署名への協力を、当会役員に対し依頼した。また、各郡市医師会、道内関係団体にも協力を呼びかける予定である。

道医の動き

4月11日 北海道厚生局との打合せ
4月13日 日医勤務医委員会（藤井常任理事）
4月14日 第1回理事会
4月15日 北海道医師会・北海道獣医師会連携シンポジウム
4月16日 地域医療介護総合確保基金(医療分)にかかる都道府県個別ヒアリング(東京都、長瀬会長、笹本常任理事)
4月17日 日医理事会(長瀬会長)
4月19日 公立芽室病院をみんなで支える会「定期総会・病院職員との親睦交流会兼新任職員歓迎会」(芽室町、伊藤常任理事)、日医医師の働き方検討委員会(藤井常任理事)、日医広報委員会(山科常任理事)

4月20日 医療関連事業部担当理事会
4月21日 東北・北海道医師会共同利用施設連絡協議会各道県医師会担当理事打合せ会(秋田県秋田市、伊藤常任理事)
4月22日 北海道の臨床研修病院合同プレゼンテーション2018札幌(長瀬会長、小熊副会長、櫻井常任理事)
4月23日 陸上自衛隊北部方面総監部幹部との懇談
4月24日 三役会、第2回常任理事会、医業経営・福利厚生部担当理事会
4月25日 外部監査、医事紛争処理委員会
4月26日 日医ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」(青木常任理事)
4月27日 外部監査
4月29日 日本在宅医学会 第20回記念大会(～30日、東京都、伊藤常任理事)
5月7日 三役会
5月8日 第3回常任理事会、広報委員会、日医代議員会財務委員会(藤原副会長)
5月9日 地域福祉部担当理事会
5月10日 地域医療部担当理事会、日医選挙管理委員会(北野常任理事)